

米奥小だより

令和6年7月19日（金）

No. 17

米奥小学校 校長 北添 忠

夏休みは、時間がいっぱいあります。日頃できない、やらないことに前向きに挑戦し、新たな自分を発見できるといいですね。一つでも二つでも成長し、笑顔で2学期を迎えられるよう、期待しています！

〇夏祭りに向けて、^{だいまつ}松明の準備

7月27日に行われる「沈下橋夏祭り in 松葉川」に向けて、松明の準備を、保護者や地域の方々が協力して行いました。今年は100本以上の松明を新たに準備する必要があるということで、山からの伐り出し作業、松明一本一本へ伐り込みを入れる作業などを3日間にわけて行いました。伐り出し作業が行われた2日



間は天気に恵まれましたが、松明に切り込みを入れる作業は、途中から雨となり、テントを張っての作業となりました。チェーンソーを回し続けるため、作業の途中で刃を研ぎなおすなど、手のかかる作業でした。できた松明は、職員室前に山積みされており、少しでも乾燥するようにと、晴れた日には事務員らがシートをのけて、風と太陽の光を松明にあてています。

買い出しなどの準備も少しずつ進み、学校の中は祭りに向けて段ボール箱が積み上げられ始めました。祭りまであと一週間。当日の天気が気になるころですが、最高の夏祭りになることを願うばかりです。

○灯籠の絵付け

松葉川青年団が8月末に行われるイベントで灯籠流しを行うということで、米奥小学校の児童が、7月18日の午後、灯籠に願い事や絵を描きました。灯籠は環境に配慮した紙製で、ろうそくの光で照らされる4面に、願い事や思いの絵を描きました。この取り組みは松葉川青年団からの提案で行われたもので、8月末のイベントでは、児童が描いた灯籠が四万十川に流されるとともに、ランタンも空に舞い上がる予定だそうです。



このイベントは、旧松葉川中学校が閉校して50年になることも開催の理由の一つとのこと。半世紀前の松葉川地区の賑わいを振り返る意味もこめて、米奥小学校の児童が、旧松葉川中学校の校歌を少し練習し、歌ってみました。約1か月間、給食の時に旧松葉川中校歌をBGMとして聴いてきました。歌詞が小学生には少し難しいかなと思いましたが、児童らは頑張って歌っていました。その様子をYouTube動画にしましたので、ぜひご覧ください。

